

危険度マップ

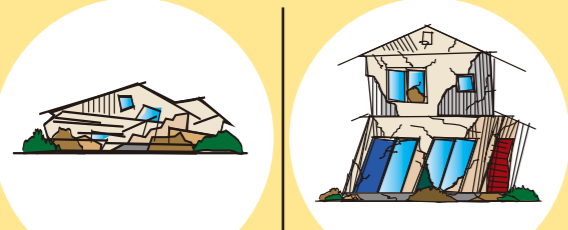
大柿町エリア 1/15,000

危険度マップを見て、あなたの地域の全壊率を確認しましょう。
あなたの家が全壊率の高い地域にある場合は、建物の耐震化など地震に対する備えを行うことが重要です。

全壊とは？

「全壊」とは、台風や地震などの自然災害による建物の被害の程度の中でも、もっとも大きく被害を受けた状態を指しています。具体的には平成13年6月に国より「災害の被害設定基準」が定められ、「居住する上での危険な状態」を全壊としています。

全壊



- 住宅の全体、もしくは一部の階が全て倒壊している。
- 外壁や柱の傾斜が1/20以上である。

半壊



居住する上で一部支障をきたす状態を指しています。

一部損壊



壁面に亀裂が生じている。外装に若干の剥離がある等の状態を指しています。

無被害



被害が生じていない状態を指しています。

災害に係る住家の被害認定基準運用指針、内閣府、東南海地震・南海地震等に関する専門調査会、中央防災会議を参照して作成

例：全壊率20%とは

1つの格子（メッシュ）の中に5戸の建物がある場合、1戸が全壊、残り4戸が半壊、もしくは一部損壊・無被害と予想されるということを示しています。



このマップの活用方法

1. あなたが暮らす地域は何色ですか？マップであなたの地域の全壊率を調べてみましょう。
2. 地震に対して安全な家づくり・地域づくりに向けて、あなたと地域ができることを考えて見ましょう。

あなたと地域でできること



みんなで安全な地域づくり
地域の危険な場所を確認しよう
自分たちの地域の防災マップを作ろう

あなたと家族でできること



家族みんなで安全な家づくり
家具の転倒を防止しよう
耐震診断・耐震改修を受けよう

凡例

危険度ランク	全壊率
7	30%以上
6	20~30%
5	10~20%
4	7~10%
3	5~7%
2	3~5%
1	3%未満
---	地区境界

